

# 議会運営委員会報告書

令和4年9月27日

備前市議会議長 守井秀龍 様

委員長 尾川直行

令和4年9月27日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	調査結果	備 考
1 議長の諮問に関する事項についての調査研究 ① 議会報告会について (1) 議会報告会(8/27)中止に伴う事前質問への回答について (2) 今後の議会報告会の在り方について (3) 次回議会報告会の開催について	継続調査	—



## 議会運営委員会記録

招集日時	令和4年9月27日（火）		午後2時00分	
開議・閉議	午後2時01分	開会 ～	午後3時06分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	尾川直行	副委員長	奥道光人
	委員	中西裕康		土器 豊
		西上徳一		石原和人
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍	副議長	森本洋子
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	石村享平		
	議事係長	青木弘行	議事係主任	楠戸祐介
審査記録	次のとおり			

## 午後2時01分 開会

○尾川委員長 ただいまの御出席は全員であります。定足数に達していますので、議会運営委員会を開会させていただきます。

早速ですけれども、お手元のレジュメに従って話を進めさせていただきます。

まず1点目が、議長の諮問に関する事項についての調査研究ということで、①の議会報告会について、(1) 議会報告会中止に伴う事前質問への回答ということで、お手元に資料があります。

事務局のほうから説明がありますか。

○大西議会事務局次長 1点目につきましては、前回の議会運営委員会で文書に取りまとめて議長一任ということで、御了解はいただけたと思っております。定例会終了後に文書を作成して、お相手の方に回答としてお返しさせていただきたいと思っております。

○尾川委員長 それでは、もう今日は結論出さないといけないと思っておりますので、お時間を設定して、目を通していただいて、不具合なところをチェックしていただけたらと。今日結論を出したほうが良いということで、(1) 事前質問への回答について、お目通しいただいて、特に問題があれば御指摘いただいて訂正等するというにしたいと思っております。時間を取りますので、よろしく願いいたします。

それでは、早速ですけれども、今、見ていただいた回答案について、(1) 議会の決意ということで回答案がありますが、それについて何か御意見ありませんか。

これでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(2) 議員の研修について、いかがですか。

○中西委員 上から3行目、「いまだ基本条例に関する研修が行われていません」と。

これは、このとおりですが、規定されており、11月には研修を行う予定にしておりますみたいな書き方のほうが良いのではないかと。

○尾川委員長 いかがですか。今、やっていませんと言い切るよりは、11月に研修することになっておりますので、そういう回答ではどうかという提案ですけど。

ほかの委員の方、どんなですか、そういう文言に変えてもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

事務局、今説明がありましたように、11月に研修するというので、そういう答えにしたいと思っておりますので、訂正をお願いします。

次の(3) 議会広報の充実について、議会だより編集委員会と議会運営委員会が担当ということになっとりまして、何かこの文言で特に訂正したほうが良いとか、加えたほうが良いとか、何かありましたら。

よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(4) 鳥獣被害について、総務産業委員会、何か鳥獣関係で加えることがあれば、あるいはちよつとここの表現を変えたほうがいいというなのがあれば。

○西上委員 真ん中からちよつと下のあたりの「猟友会及び駆除班の構成員も高齢化が進むなど、狩猟者数が年々減少し」というところですが、たしか県に駆除チームがあったと思う。警察OBなどがつくったチーム、桃太郎さんだったか忘れちゃったけど。そのあたりちよつと、またチームも年々減少されているのなら助けを借りるとか、そういうような議論は総務産業委員会ではなかったのでしょうか。

○尾川委員長 その辺の話は委員会ではなかった、たしか。

○西上委員 今、そういうチームがあるということなので、その辺のこともお調べになって、駆除チームの力がお借りできるのなら、高齢者化が進んでいるのだから助けていただければいいのかなあと考えて言わせていただきました。

○尾川委員長 それは記述はせずに、委員会のほうでその議論をしてみたいと思います。

○西上委員 お願いします。

○尾川委員長 ほかの表現はどうでしょうか、よろしいですか、これで。

ちよつと気になるのが、中段で、「議会として意見すべき案件ではないと判断します」という文言が適当なのか、もうちよつと柔らかい表現がないのかという感じはするが、その辺ちよつとどうなのかなあと。

○中西委員 私もそこは気になるところです。もし「議会として意見すべき案件ではないと判断します」とすれば、今までこのところについては議会で議決もあるわけです。もしここでこういうふうに言い切ってしまうと、次の行の「捕獲の担い手としての新規狩猟者の確保と捕獲技術の向上、資材の整備等猟友会や県など」というところが、蹴ってしまって、なおかつここではその中に入ってしまったら、これはどうかなと私も思います。でも、これは総務産業委員会で検討されたわけでしょう。

○尾川委員長 私も委員会のメンバーですが。

石原委員、どうですか、この辺は。

○石原委員 委員会の記憶もちよつと定かでないが、あくまで猟友会なり、任意団体なので、それから議会、市当局がどこまで関与できる団体かということもあるわけですが、まあそういうところもありますというやり取りをした覚えはあります。それがここで意見すべき案件ではないという表現になっているので、議会としてその強制的にこうなさい、ああしなさいは難しいにせよ、やはり状況を見極めて、時には意見もさせていただいて本来あるべきところで、表現としてここを工夫していただけたらいいのかなあ、議会としても関心を持って取り組んでいきますというような表現のほうがいいのかあと思います。

○尾川委員長 事務局に振ったら悪いけど、ここを取ってしまうとおかしな文章になるかな。

○青木議事係長 大丈夫だと思います。

○尾川委員長 文言については、委員長と副委員長に任せて、事務局と相談して、趣旨はよく理解できるから、その辺の趣旨を酌んで回答書を作るということで、どうでしょうか、お任せいただけますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そういうことで、この文言について、早めに決めていきましょう。

(5)の区会等補助金について、何か御意見、厚生文教委員会と総務産業委員会、両委員会にわたった課題ですけれども。

何かございましたら。

○中西委員 厚生文教委員会の文書ですけど、全体の今までの1、2、3、4の文体がですます調ですよ。例えば、「いるとのことであつた」、改善に取り組んでいるとのことでしたとか、ですます調に文章としては直したほうがいいのかなど。そのほうが柔らかくなると思います。

それから、総務産業委員会のこの2行ですけど、これは厚生文教委員会に引っかけながら、この2つの文言が派生的に入っていたと僕も思う。もしこのように書くのであれば、この2行を省いてもいいという感じがします。

○尾川委員長 そういった提案がありました。文言の語尾をある程度統一するというのと、省いたほうがいいのかという意見がありました。

いかがですか、その点は。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

事務局、どうですか、その点は。

○青木議事係長 委員会で決めていただいたので、その2行は削除して、文言についてはほかのところもありますので、ですます調であるとかに統一させていただきたいと思います。

○尾川委員長 (5)区会等補助金については、そういうことでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(6)執行部の答弁について、何かございましたら御意見をお願いします。

○中西委員 ここのですます調に直しておいたほうがいいと。

その上で、「令和3年6月の当時の課長答弁」、当時のところへ課長答弁だけ入れてあげたほうがいいのかという感じがします。

その文章の最後のほうで、「確実な説明に努める」を、正確な説明に努めるとしたほうがいいのかと。

というのが、当時の課長答弁は、そういう文章はありませんと言っていたのですが、その文章が実はあったということなので。

最後、委員長より執行部に厳重注意を行ったと、ここは大切だと思う。

○尾川委員長 そういう趣旨で詳細を書いたほうが、分からないようでは困るから、書いていく

ということ。

それと、今、确实なという表現について、正確なと入替えするということ。  
よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

事務局も、よろしいですか。

○青木議事係長 本日いただきました御意見を基に、議長名で相手方にお返ししますが、その案文について、最初の文言もありますので、その文書を議長、正副委員長に見ていただいて、最終決定をしていただければと思います。発送は、なるべく早めにさせていただければと思っております。

○尾川委員長 それでは、事前質問に対する回答案ということで、一応これで全部ですけど、全体通してできるだけ統一した文言にするということと、細かいところをもう一回見直して、議長と委員長でチェックしたいと思います。

ほかに何か、委員の方で御意見があったら。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(1) の議会報告会中止に伴う事前質問への回答については、以上で終わりたいと思います。  
次に、参ります。

(2) 今後の議会報告会の在り方について、資料がお手元にありますが、各会派から意見がいろいろ出ております。(3) 次回の議会報告会の開催にも関連するが、取りあえずこの意見をいただいた中で取りまとめていって、次回の議会報告会のやり方を、アウトラインは決めたいと思いますので、御協力いただきたいと思います。

それでは、どういう形で取りまとめたいでしょうか。

何か、御意見、各委員の方からお願いしたいと思います。

○土器委員 コロナの関係でできなかったけど、やはり一度は議会報告会をやって、次に動いたほうがいいと思う。一度やって検討するという形ですね。

○尾川委員長 実施する内容については、計画で流れた従来の議会報告会を実施ということですか、意見は。

○土器委員 はい。

○尾川委員長 それから今この提案があった議会報告会の在り方についていろいろ考えていただいて意見を取りまとめてここまで来ているわけで、それについてどうでしょうか。どう扱いたしますか。

○中西委員 何か悩ましいところですけど、議会でやるとなると、この間2回やってみただけども、結局はコロナの感染でできなかったと。できなかった場合にはどうなるのかということになると、こういう質問が来ると。本来なら1か月前の議運でこういう質問に答えて、本当は返してあげないといけないけど、今回そこがなかなか難しいと思った。今後、感染が拡大する可能性も

なくはない。そのことを思うと、委員会ぐらいで小回りを利かせて、対象を限定して、問題点を絞って懇談していくほうが、中止にするときにも中止にしやすいし、感染が多少広がったときでもやりやすいと言えばやりやすいというところでのメリットはあると。全体でもう少しやってみるといときには、感染状況がもう少し収まったときを見計らってやったほうが良いと私は思う。

**○尾川委員長** ほかの方は御意見ないですか。

基本というか、もともとの議会報告会を、中西委員はまだおそれがあるということで、一歩形を変えてやっていこうと、私も解釈しております。

皆さんの御意見で、取りまとめて次の段階というか、何らかの形での議会報告会は実施するとは思いますが。

**○石原委員** 各会派で御検討されて、ここへ記載されている中では、先ほどもございましたが、議場で1回実施してはどうかというところが多いようにお見受けはする。今回コロナで中止にはなりましたが、議場で開催された場合のことを思い描くとき、事前に御質問を通告いただくような形でお受けをして回答する予定ではありましたが、過去コロナ前ですか、出席状況を見ても、なかなか寂しい状況が続いていて、恐らく今回も事前受付でかなり少ない反応であったということを見れば、もうこれまでのスタイルは限界というか、考え直すべきときなのかという思いで、新志会としては思い切ったの変更を検討してはみた。

我々は、こういうスタイルで開催内容は変更するけれども、今回のような形で事前に備前市議会に対する御意見、御質問はお受けをしますと。議会からそれについては回答させていただきますという形は継続した上で、先ほど中西委員もおっしゃった、例えば、委員会単位であったり、小さなグループ分けをしたりして、市民のところへ出向いて行って、ブースを設けるといところを、トライしてみたらどうかなあという思いではおります。

**○尾川委員長** ほかの方の御意見は。

**○西上委員** 先ほど土器委員が言われましたとおり、とにかく8月のときに議場でやると1回決めたわけですから、1回はして、2回目以降は、今、石原委員も言われましたとおり、各種いろんなところに出向いて行って出前的なことをされれば良いと思います。市政会としては取りあえず8月でできなかったことを議場でもう一回するというご意見をお願いしたいと思います。

**○尾川委員長** あと、奥道委員、御意見があったら。

**○奥道副委員長** 6会派のうち、議場でというのが3会派、市政会、私ども公明党、無所属、それからイベント会場へというのが委員会ということで、それぞれ委員会とか言われているわけですね。一応、私としては1回ぐらい議場でやるのはどうですか。その上で、その以降イベント会場での出前報告会的なもの、委員会単位は、2回目以降、それを考えていただいたらと思います。

イベントではなくオンラインでの報告会も、ホームページで回答するという意見もありますか

ら、というのも併せてどうでしょうかと思います。

○尾川委員長 議場でやる意見が結構あるわけで、実際やるとしたら、いつ頃になるのか。

○大西議会事務局次長 前回と同様の方式でやるというスタイルを選択した場合に、議会だよりでの御案内になりますと、10月末に広報の発送と併せて各御家庭に議会だよりの中での議会報告会開催の御案内ということになります。それが届いて、いつ開催しますということを考えますと、11月の中旬から11月定例会までの間ということを考慮しますと、11月の3週目ぐらいで、議会の公的行事が入っていない日を選んでいくぐらいの広報の期間というような形でございます。

○尾川委員長 11月中旬頃が開催予定になるわけですね。

○中西委員 ここでやってみるとというのは、それはそれで案もあるわけですが、やっぱり中止にする場合が難しいという。だから、今の案でいくと、結局案内をして中止を出すというのは、案内を出したらすぐ中止にしないでほしいという、あるいは直前で中止にしなければいけないというところが、コロナとの関係でなかなか悩ましいと。そういう意味で、全体でやるのは中止のサインを出すのがなかなか難しいということで、小回りを利かせて、ここにあるような観光業者、耐火物関係、園長、校長との意見交換というのは、これは小回りが利かせるし、中止にする場合もやりやすいというメリットがあって、これだと確実にやり切ることができると。中止をするということを考えると、ちょっとしんどいというのが、私の思いです。

○尾川委員長 事務局長、ちょっと考えを、率直なところで。

○石村議会事務局次長 各会派の御意見を聞いても、1度は議場でやってはどうかというのはありますが、されるのでしたら、日にちは今日決めていただきたい。

それから、広報の関係もありますので、委員会単位で各団体と意見交換をされるにしても、どちらの団体とするというのは、早めに決めていただきたいとは思いますが。

どちらになっても、定例会が終わったらやることにはなっているので、計画は進めていただきたいと考えております。

○守井議長 まあ議場で報告会をやるということで、2回ほど計画したけれども、やっぱりコロナの関係でできなかったということで、3回目もひょっとしたら同じようなことになるかもしれないというので、やっぱり様子見て今度趣向を変えて、各常任委員会でそれぞれの関係ある団体との協議をやってもらえないでしょうかというのは、また別口でお願いはしておるところでもありますので、今回はそれに変えて予定をさせていただいて、その次ぐらいにコロナの状況を見ながら議場でということになるかと思いますが、やっていただいたらいいと。何もせずに委員会を、僕は11月に済ますというわけではなく、何らかのやれるものをやっといたほうがいいとは思いますが。

○尾川委員長 一応在り方について意見を求めている以上、それを完全に無視してというのもちょっと大人げない気もするし、そうかというて、議場でという意見も結構あるわけですから、繰

り返しなっても何かなあという感じがするわけですけど。

○守井議長 皆さん、その判断を委員長にお任せしたらいかがですか。

○石原委員 今回、中止にはなりましたけれども、本来開催予定は8月のお盆明けでしたが、中止の判断がいつ頃されて、その連絡、通知はどのような形でされて、大きなトラブルであったり、何か大変だったというのとは。

○石村議会事務局長 中止を決定したのは、開催日間近で割と直近だったと思います。今回申込方式でしたので、事務局から申込みをいただいた方には連絡をします。あとはホームページぐらいいしかも周知の方法がありませんでしたので、当日は事務局で入り口におりましたが、問合せも、来られる方もいっしょにいなかったです。

周知の方法はなかなか難しいので、そういう対応はさせていただきたいとは思っております。

○西上委員 これをちょっとミックスさせて、取りあえず議場でやって、来ていただける方を限定すると。例えば、各地区の区長を集めるということでしたら、中止になっても各区長ですので小回りが利くと。区長が行けないのならここに書いてある各種団体の方々、どこの団体にするかは、まだこれから決めるとは思いますけれども、それから議場で相手を指名する、決める、私は各地区の区長がいいと思います。

○尾川委員長 どうまとめますか、これを。

西上委員の提案は、議場で従来の形でやると。今度は、対象者を限定ということになってきているわけだから、話が違ってきているわけ、解釈しているわけ。だから、各種団体にするのか、その辺の順番がどう取り組んでいったらいいのかというのが。

こっちも議場ですということとは、不特定多数で市全体の対象者も想定して考えていた。ほかの会派は、各種団体、あるいはPTAとかというふうに、場所は議場であろうが、そこへ行く場合もあろうが、開催しやすいところとか、参加しやすい大きさでないところとかということ考えていかないと。その辺がごっちゃ混ぜになると、ちょっと混乱する感じがして。

だから、まず場所を決めるのか、それとも対象者を限定するのか、あるいは不特定多数にするのかということからアプローチかけていかないと、あっちやこっち行ったらもう分からなくなってしまうので、その辺はどうでしょうか。

なかなかコロナの問題で開催が難しい、これまで3回流れて、次がどうか分からないが、それでやり方を少し変えたらどうかという思いだったと思う。

同じことの繰り返しで、中止になってしまうと、本当にやる気があるのかというふうに解釈されても心外ですし。

暫時休憩します。

午後2時44分 休憩

午後2時52分 再開

○尾川委員長 再開いたします。

まだ意見がいろいろ出て、何とかコロナの影響が少なくて手数がかからずに開催できて、あるいは中止もできるし、フレキシブルな会合ができないかという狙いですが、事務局のほうで何か御意見あったらアドバイスして。

**○石村議会事務局長** 事務局からの御提案でございますが、基本条例によると11月には開催をしないといけないということで、コロナの収束が見通せない中で、議場で不特定多数の人をお迎えしてするには、中止になること、心配があるということでなかなか議場での開催に至らないと考えますので、コロナが収束した暁には、通常どおりの開催に戻すと。それまでは、委員会単位になるのか、どういう単位になるのか分かりませんが、各種団体と日時を定めて意見交換を試みるというのはいかがでしょうか。

その対象となるお相手については、今回、議会報告会の在り方について、各会派でいろいろ団体も出されていますので、11月についてはそういったところを選んでやってみると。単位については、常任委員会がいいのか、会派ごとがいいのか、そのあたりは御協議をいただきたいと思えます。

**○尾川委員長** 今、説明がありまして、最大公約数でまとめなければいけないので、常任委員会にお任せするか、それだけここで決めてもらい、定例会が終わってすぐ、常任委員会に負担をかけるのは悪いですが、取りあえず常任委員会に投げかけてみると。趣旨はコロナ感染を防止しながら各種団体等との意見交換を重点的にやっていくような議会報告会と。全体としての従来のイメージの議会報告会をやめてしまうのではなく、ちょっと今、時期が、これからも心配する人もおるので、ちょっとやり方を変えていきたいということで、常任委員会に投げてもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。それで常任委員会に任せて、こちらの趣旨は不特定多数ではなく、フレキシブルな細かい、開催しやすい形での議会報告会、あるいは意見交換会にしていくという狙いで説明していったら、大変ですけど、開催時期は11月中旬ぐらいをめどにということで準備していきたいと思いますが、その点で御協力いただけますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

はい、そうさせていただきます。

事務局、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そういうことで、議会報告会も何本もの方法で考えていたほうが良いと思う。コロナが収束するという事は、学者によれば、12月頃には増えると言うたりする話もあるので、いつも流してしまうわけにはいきませんので、何とかその中でやっていける形を模索したいと思えますので、よろしく御協力をお願いいたします。

ほかに何か、全体通して。

○中西委員 ここで決めなくてもいいとは思いますが、私の意見です。議会報告会の在り方について、中学生、高校生が入っております。コロナの感染のことと、ワクチン接種のこととか考えると、もし何かあったら、そんなところでやるというのは、私は控えたほうがいいと思います。

もう一つ、校長との意見交換とか、校長先生というのは、教育委員会はそれを見ていますから、そんなことは絶対それ以下のことも、以上のことも言いませんから、こういうのはあまりどうかと思います。

○尾川委員長 言い訳するわけではないが、中学生とかというのは、やっぱり学校サイドが主導権を持っているわけですから、それで判断してくると思う。どういう形か方法は別として、若い人から意見を聞くというふうに、今までどおりでやっていったのであれば同じ結果しか出ないという、勝手な解釈をしています。

事務局のほうから何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

もう一点、今日、旧アルファビゼンの説明があったが、それについていろいろ議論があって、私も言いたかったわけですけど、執行部は、C案で選択したということは理解したが、それについて具体的な細かい話は今度総務産業委員会でやっぱり調査研究すべきだと。その辺のことについて今後議運としての取組について御意見があったら、なければいいですけど、あったらどう取り組むかと。連合審査委員会でやるのか、総務産業委員会に任せて、その担当担当の委員会に細かいところはありますね。芸術文化なんかは、厚生文教委員会で担当していくのかというのを、今日結論は出なくてもいいですが、連合審査でやるのか、それとも各常任委員会で、担当担当で取り組むのかということについて、ちょっと意見があれば、今日でなくてもいいですが、また意見があれば事務局に言うてもろうてもいいし、こっちに言うてきてもろうてもいいし、そこがちょっと気がかりになりました。

○石原委員 今日の連合審査会でしたか、総務産業と厚生文教に分かれて、総務産業の委員長が厚生文教のほうへ、こういう形で開きますという働きかけがあって、あの会が開かれたわけですが、今日もうすぐにすぐではないですけど、今後も含めて、連合審査会の位置づけというか、そこも僕自身ちょっと会の休憩中にもろもろ発言もさせていただいたわけですが、審査会の重みというか、位置づけというか、そういうものも改めて何か議員として勉強していかないといけないと感じましたので、また学ばせていただければと思います。

○中西委員 今日の連合審査については、やはり苦肉の策の一つだったのかなあと。全協でやるとクローズになってしまいますから。議事録も残らないということでの執行部の提案を受けるといことになれば、こういう形でやるしかなかったのかなあと。しかし、不消化のところはたくさん残る話ですよ、というのが1つ。

もう一つは、市長の政務報告のペーパーになっていないところが出てきていませんよね、本定例会を通じても。これはどうなのか気にはなる。やはりペーパーできっちりもらうべきではない

かと、恐らく文言はできていると思うので、というふうに思います。

もう一つは、今日連合審査会が終わったら、委員会室が執行部の何か会議になってしまって、議運をやる予定だったのが、出てくださいと言われて、僕もびっくりした。やはりうちの議会の議事のほうが先行すると思うが、そこは僕も説明を受けたいと思います。

○尾川委員長 今日結論というか、まとめはできないですが、また考えてもらって、今後のことで。事務局、何か御意見ありませんか、これに関しても含めて。

○石村議会事務局長 旧アルファビゼンの連合審査会については、中西委員がおっしゃられたとおり、全員協議会という話もあったわけですが、検討されてきた結果報告についてはクローズでやるべきではないと。全議員に情報共有するためにはどうするのがいいかということで、苦肉の策というふうに、中西委員がおっしゃったが、そのとおりでございます。

都市整備部長から、今後この審査についてどうするかという問合せがありまして、それは議会で決めることではあるとは思いますが、それぞれの委員会でお願ひしたいという御発言もありまして、今日の結果に基づいて出てくるであろう予算等については、一般会計で計上されると思われまので、それは一般会計予算決算審査委員会でされることになると思います。個別の報告、調査に当たって毎回全員でお集まりいただくというのもなかなか大変な作業にはなりますので、所管所管でしていただけたらと事務局としては考えております。

それから、市長の冒頭の御挨拶につきましては、いただいた原稿でお出しをしていたわけですが、全てが載っていなかったということで、どういう手続を踏まれるのか、最後まで見守っていたわけですが、このまま終わってしまいましたので、今こちらで起こしたものを議員には配付をさせていただきたいと思っております。

それから、委員会室の利用につきましては、引き続き記者会見をさせていただきたいという話がありまして、後半の議会運営委員会については、実は議長室でさせていただこうと思っておりました。中西委員がおっしゃるとおり、ここのイニシアチブはあくまでも議会が取るべきということで、時間的に押してしまって、お待ちいただいたりして本当に申し訳なかったと、冒頭でお断りすべきだったと思っております。あくまでも議会の会議を優先すべきと考えておりますので、今後は気をつけたいと思います。申し訳ございませんでした。

ただ、記者が8社ぐらい入ってきていましたので、ここで記者会見をせずに、また場所を動かすというのも大変な作業だったというところもあって、議長にお願いをしてここの使用許可をいただいていたということもあります。

○尾川委員長 ほかにはございません。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ、これで議会運営委員会を終わりたいと思います。

午後3時6分 閉会